



## 外国出張報告書

平成 26 年 8 月 25 日

1. 出張国名       マレーシア
2. 出張月       平成 26 年 8 月
3. 出張目的       パーム幹の糖蓄積試験の分析結果の検討と機能性肥料試験の確認：C
4. 成果の概要

パーム伐採幹中の糖蓄積メカニズム解明に関して、共同研究機関である東京大学農学国際専攻の学生と共に、マレーシア理科大学（USM）において伐採幹から経時的にサンプリング及び糖蓄積含量測定を行っている。

今出張期間中において、遊離糖濃度の分析以外の測定結果をとりまとめた。

分析機器の不具合により、遊離糖の分析が出来ず、遺伝子レベルで解析するサンプルの抽出はできなかったが、糖度計を使い大まかな分析を行った。

また、グルタチオンの肥料効果実験に関して USM 生物学部の担当研究者と打ち合わせを行った。9 月よりパーム苗への施肥試験を開始予定である。